

【資料5】

中間報告（たたき台）について

令和7年1月

今年度の適正化検討委員会「中間報告」のたたき台について

これまでの経過

「矢吹町立小学校の適正規模・適正配置の基本方針」の策定に向けアンケート結果や地区別懇談会の意見を基に審議した内容について「中間報告」としてまとめる。

中間報告 たたき台

【中間報告（たたき台）の構成】
「町立小学校の1学級あたりの児童数及び1学年あたりの学級数並びに再配置の必要性について」

- (1) 町立小学校の1学級あたりの児童数及び1学年あたりの学級数
- (2) 再配置の必要性
- (3) 基本方針の策定に向けて検討が必要となる主な事項

令和7年度 以降の取組み

「中間報告」を基に以下を含む「基本方針」を策定

- ・再配置を実施する時期・方法
- ・新設する場合の立地場所
- ・再配置に要するコスト
- ・スクールバス等による通学支援の方法等

確認事項

(1) 町立小学校の1学級あたりの児童数及び1学年あたりの学級数

理想的な学級編制は、1学級あたり21～25人、1学年あたり2～3学級

アンケート結果として、1学級あたりの児童数は「21人～25人」、1学年あたりの学級数は「3学級」が最も多い意見となっています。

確認事項

(2) 再配置の必要性

将来的に小学校の規模が小さくなることが予想され、再配置（統合など）を実施することで適正規模に近づけることが必要と考えられる。

アンケート結果から、「保護者」、「地域住民」、「教職員」全ての区分で、7割を超える方が再配置の必要性について肯定的な回答をしています。

グループディスカッション

(3) 基本方針の策定に向けて検討が必要となる主な事項

「魅力ある学校・教育環境」

実施時期

配置方法・場所

通学支援

来年度に具体的な検討を行います。

「中間報告」に反映する内容として「魅力ある学校・教育環境」についてご検討願います。

「魅力ある学校・教育環境」について以下の4つの区分により、ご意見やご提案を発表してください。

①子どもが主役の学校

②安心・安全な学校

③地域・家庭とともにある学校

④その他